

カモメ 通信

令和5年4月発行
No.2

世界三大フルートコンクールのひとつ、神戸国際フルートコンクール。第10回大会はコロナ禍のため、すべてオンライン審査となりましたが、ようやく渡航規制も緩和され、入賞者たちが神戸にやってきました。神戸文化マザーポートクラブでは、2月19日、栄冠を勝ち得たフルーティストを招いて、神戸ポートピアホテルでウエルカムパーティーを開催。これから世界へ羽ばたく若手演奏家たちを盛大に祝福しました。

入賞者全員はそろわなかったものの、1位のラファエル・アドバス・バヨグさん（スペイン）、3位の石井希衣さん（日本）、6位のジョイディ・スカレット・ブランコ・ルイスさん（ベネズエラ）が万雷の拍手の中を笑

顔で入場しました。

冒頭、神戸在住のイタリア人ヴァイオリニストのマウロ・イウラートさんとピアニストの佐野まり子さんがヴィヴァルディの「四季」などをサプライズ演奏。大いに雰囲気盛り上げてくれました。

続いて、伊藤紀美子共同代表（神戸商工会議所副会頭、田嶋株式会社代表取締役社長）が入賞者を祝福して開会の挨拶。来賓の久元喜造神戸市長が、



入賞者を歓迎するとともにパーティーを開催した当クラブへの感謝の気持ちを表明されました。

伊藤紀美子さん開会あいさつ

入賞されたみなさまを心から歓迎いたします。また、多くの方々にお集まりいただきお礼申し上げます。

マザーポートクラブは第9回のフルートコンクールへの支援をきっかけに、2018年に誕生しました。芸術文化を愛する市民、企業が集積するまちこそが都市のブランド力を高めていけると信じています。入賞者の方々の今後のご活躍を祈念しております。

久元喜造神戸市長祝辞

今回のフルートコンクールはコロナ禍のため動画審査となりましたが、今日、あらためて入賞者のみなさまを神戸にお迎えすることができました。歓迎するとともに祝意を述べさせていただけます。引き続き地元経済界のご支援をよろしく願います。

この後、事務局からコロナ禍のため、

中止や延期が相次いだ世界の音楽コンクールの中で、オンラインで開催した神戸のフルートコンクールは若い演奏家たちに希望を与えたこと。一方、神戸に集まって実施できなかったことでフルーティストと市民が交流できず、今回のパーティーが神戸市民のホスピタリティを発揮する貴重な機会になったことが報告されました。ハイライトは、入賞者3人が壇上で紹介された後、同クラブ共同代表の高梨柳太郎・神戸新聞代表取締役社長から花束と記念のオルゴールがプレゼントされました。オルゴールはト音記号をデザインしたおしゃれな形で、ゼンマイを巻くと日本の童謡・唱歌が流れます。これから世界に飛躍する彼らに日本と神戸をいつまでも覚えておいてほしいとの願いを込めています。

入賞した感想などを聞かれると、バヨグさんは「こんなに歓迎されるとは思っていませんでした。神戸が大好きになりました」、石井さんは「夢にまでみた神戸国際フルートコンクールに入賞できて幸せです。受賞を励みにさらに頑張ります」、ルイスさんは「神戸のみなさんありがとうございます。演奏会を楽しみにしていただきます」

などと、神戸への感謝とこれからの夢などを語ってくれました。

乾杯は、上島達司共同代表の（UCCホールディングス株式会社代表取締役会長）の発声にて杯を掲げ、早くも2025年の第11回コンクールへと機運が高まりました。

上島達司共同代表の乾杯発声

神戸文化マザーポートクラブも70社余りとなりましたが、みなさんのご協力で100社を目指しましょう。

第2部では神戸大学の学生らによるジャズの演奏が流れる中、参加者たちが懇親を深め、コロナで長らく遠ざかっていた宴を心ゆくまで楽しみ、会員の中からは「コロナ前のようにマザーポートクラブ主催で毎年、こんなパーティーが開けたらいいのにな」と言った声も。

入賞者は一足早い退室となりましたが、参加者ともすっかり打ち解け、名残惜しい別れとなりました。

最後は道満雅彦幹事（オリバーソール株式会社代表取締役社長）が閉会の挨拶をして、盛り上がったパーティー

を締めくくりました。

道満雅彦幹事の閉会の挨拶

ようやく入賞者のみなさんを神戸にお招きすることができました。しかし、ウクライナでの紛争がこのコンクールにも影を落としており、残念でなりません。一日も早く平和な世の中になり、世界中の若手フルーティストが競い合える時代になることを祈らずにはいられません。

第10回神戸国際フルートコンクールの入賞者による披露演奏会・優勝記念演奏会が2月23日、神戸文化ホールで開催されました。また、翌24日には、入賞者披露演奏会の東京公演が、東京中央区の浜離宮朝日ホールで開催されました。

神戸ではステージ1と題して、入賞者5人（1人欠席）による披露演奏会、ステージ2と題して1位入賞者2人（ラファエル・アドバス・バヨグさんとマリオ・ブルーノさん）による優勝記念演奏会という2部制で行われ、マザーポートクラブの会員らも世界

トップレベルの演奏を堪能しました。地元音楽家らも「果敢に挑戦する姿勢に大いに刺激になった」と勇気づけられているようでした。東京公演は同コンクール関連事業としては初の試みです。当クラブでは、この演奏会についても支援をしています。



photo : Marina Yoshida

編集後記

コロナ禍で暗中模索となった第10回神戸国際フルートコンクールですが、今年2月にマザーポートクラブが開催した入賞者歓迎パーティーで神戸のホスピタリティーを拍手とともに復活させることができました。これからもっと神戸の文化を発展させていきたいと思います。目指せ100社！

編集・発行

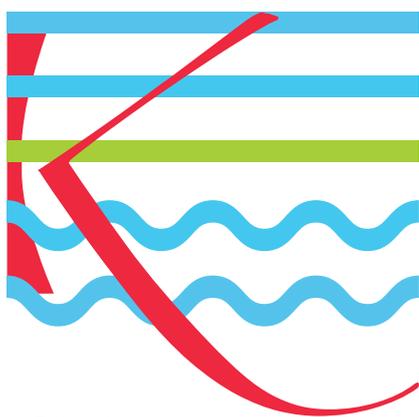
神戸文化マザーポートクラブ事務局
（公財）神戸市民文化振興財団内

〒651-0017

兵庫県神戸市中央区楠町4-2-2

Tel. 078-361-7176

Fax. 078-351-3121



KOBE BUNKA

MOTHER PORT CLUB